九学通信

http://www.kyugaku.ed.jp/

“Strive to discipline yourself and be a helpful,caring person.”

Kyugaku Journal

(1) 2013 年 10 月 14 日　第107号

発行所／九州学院　〒862-8676 熊本市中央区大江5丁目2-1　TEL(096)364-6134　FAX(096)363-2576
発行人／内村公春　編輯人／小手川勲　印刷所／㈱河田印刷　熊本市南区近見8丁目5-105　TEL(096)353-1049

2013年度 年間聖句

時を用い、外部の人に対して賢くふるまいなさい。
いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。（コロサイ人の信徒への手紙　4章5節～6節）

Conduct yourselves wisely toward outsiders, making the most of the time.
Let us your speech always be gracious, seasoned with salt. (COLOSSIANS 4:5～6)

創立者の建学の精神を覚える日・講演会
「役に立つ国際人を目指して」
講師に竹熊誠氏（S15回）

遠山参良初代院長は1911年に院長に就任。1932年に66歳で天に召されました。学院では毎年10月に記念講演会を開いて「建学の精神を覚える日」としています。

九州学院の創立者遠山参良初代院長の命日にあたる10月9日㈬、「創立者の建学の精神を覚える日」の講演会が、体育館で行われました。講演に先立ち富島裕史チャプレンの司式で礼拝が行われ、長岡立一郎理事長が遠山先生の人となりについてお話をされました。

今年の講演会は九学OBで翻訳家の竹熊誠氏（S15回・1963年卒）が、「私は九学で育った」という演題でお話をされました。

竹熊氏は、お父様が九州学院の教師であったことから、キャンパス内の職員住宅で中高時代を過ごされるなど、まさに九学で育たれた方です。カナダのトロント大学卒業後、共同通信社や日経新聞社の支局長として国際的な働きをされたご経験から、「海外に目を向け、役に立つ国際人を目指そう。九州学院はそのための実に良い環境にある。英語をしっかり学び、チャレンジ精神を持ち、日本人としての素養を磨きなさい。」と、生徒達に熱心に呼びかけられました。

講演会後、中高の一年生はキャンパス内にある遠山先生の顕彰碑に祈りを捧げました。

全国総体、剣道部が優勝
～15年ぶり3度目～

8月9日、佐賀の総合体育館で行われた全国高校総合体育大会の剣道男子団体決勝で、九州学院が高輪（東京）を破り、15年ぶり3度目のインターハイ制覇を成し遂げました。

決勝トーナメントに進んだ九州学院は、準決勝で苦戦しながらも僅差で島原を退けました。決勝では2枚看板の副将曽我貴昭、大将真田裕行が連続して二本勝ちをする圧倒的強さで文句なしの優勝を決めました。

個人準優勝の曽我選手

また、男子個人では、曽我が準優勝に輝きました。団体決勝の大将戦では真田が個人優勝の佐々木に二本勝ちをして曽我の敵討をし、真田は男子個人5位で、優秀選手にも選ばれました。

中学生ダンスドリル選手権準優勝
九州学院ミリアムズJr 2014全米大会に出場決定

8月12日㈪、東京渋谷の東京体育館で開かれた、第三回中学生ダンスドリル選手権大会ソングリーダー部門スモール編成で、九州学院ミリアムズJrが、2位に入賞しました。

この大会の上位2チームは、来年3月29日に米国テキサス州ダラスで開催されるミスダンスドリルチームインターナショナル in USA2014（全米大会）に、日本代表として出場します。

文化面も全国レベルへ
～放送・英語・合唱など～

NHK全国高校放送コンテスト 村井君に「優良賞」

7月25日㈭、東京・NHKホールで行われたNHK全国高校放送コンテスト朗読部門に出場した放送部部長の村井李音君（3年）は、全国成績上位10名で競う決勝大会に進出し、見事「優良賞」を受賞しました。

村井君は、先日制作した「九州学院学校紹介DVD2013」の中で他の女子部員とナビゲーターを務めるなど、広い分野で活躍しています。

長崎しおかぜ総文祭 書道部門 宇野さんに「特別賞」

7月31日～8月4日に長崎県で開催された全国の高校文化部の祭典「第37回全国高等学校総合文化祭（2013長崎しおかぜ総文祭）の書道部門で宇野朱香さん（3年）の作品が見事「特別賞」に選ばれました。

また、9月21日～23日に行われた、第12回岐阜女子大学全国書道展において、九州学院が団体賞を受賞しました。

ブリガム・ヤング大学 全国高校英語弁論 梅田君が九州代表に

9月21日㈯、熊本市の森都心プラザで開催されたブリガム・ヤング大学ハワイ校第15回全国高校生英語スピーチコンテスト九州地区大会で、梅田遥霞君（1年）が見事優勝し、九州代表に決まりました。

スピーチのタイトルは「空白のアルバム（Windows into the Past）」で、自分の家族を題材としたものです。

11月2日に東京で行われる全国大会での活躍に期待がかかります。

熊本県合唱コンクール 九州学院合唱部が金賞を受賞

7月13日、14日の両日、熊本県立劇場で開催された第68回九州合唱コンクール熊本県予選を兼ねた「平成25年度熊本県合唱コンクール」で、合唱部が金賞を獲得しました。

また、9月13日㈮に鹿児島市民文化ホールで開催された「九州合唱コンクール」では銀賞を受賞しました。

県高校文芸誌コンクール 井上さんに個人賞

7月5日㈮、第30回熊本県高等学校文芸誌コンクールで、井上水晶さん（S65回）が個人賞（韻文部門）を受賞しました。また、同文芸部が発行している文芸誌「九学春秋第11号」が同コンクールで最優秀賞に輝きました。

「明日は今日より成長した自分でありたい」

九州学院　院長　内村　公春

やっと暑さも遠ざかり、過ごしやすい季節となりました。振り返ると、今年の夏もスポーツの各種大会、文化面でのコンクールその他において生徒諸君の大活躍がありました。日頃の精進と努力の結果であろうと思いますが、先生方の献身的な指導、そしてご家族のお支えに心から感謝をしたいと思います。

ところで、つい先日、ラジオで次のような心に沁みる言葉を聞きました。「神さまから与えられた命だから、明日は今日より成長した自分でありたい」。92歳の現役ピアニストの室井摩耶子さんの言葉です。今も、毎日4時間の練習を重ね、演奏活動を行っている室井さんは、また次のようにも言っています。「人はよく〝老化する〟と言いますが、私はそうは思いません。歳をとっても私たちは日々成長しているのですから」。

こうした前向きな生き方は、人生に対しての謙虚な姿勢から生まれてきたのだと思います。そして数知れない挫折と絶望にしっかりと向き合いつつも、諦めずに乗り越えていったことから、このような前向きで本当の生き方が生まれたのかも知れません。

私がずっと大事に手帳に挟んでいる一編の詩があります。2011年の5月3日の産経新聞に掲載された東日本大震災を経験された方の短い詩です。

「いきなり頑張れよとは／言ってくれるなよ／泣きたいだけ泣け／涙は涸れるまで流せば／と言って／一緒に泣いてくれよ／絶望の底の底を／覗いたそこから／生きる希望は／湧いて来るような／気がする」（「東日本大震災」宮城県栗原市　佐藤英雄　74）

簡単な想像を許さない「絶望の底の底を覗いた」被災者の人たち。ここには「生きる希望は、湧いて来るような／気がする」という願いが込められています。しかし現実は、湧いてこないかもしれない。そういう厳しい現実もあります。でも、たとえどんな状況でも、いのちが輝く瞬間はあるのです。

「テレビの画面の風景は、見渡すかぎりの瓦礫である。その中を一人の中年女性が走ってきて、誰かの名を呼んだ。すると、それまで瓦礫の陰で呆然としていた男性が、うしろを振り向いた。互いに駆け寄り、ひしと抱き合う2人。女性はなきじゃくりながら叫んだ。『生きているだけでいい。会えて良かった！』」（「震災越え、いのち輝く国に」新井満　2012年1月1日熊日新聞）

室井さんの前向きな生き方、佐藤さんの絶望から立ち上がろうとする勇気。そして神さまによって生かされているいのちの輝きを、大事にしつつ、成長する自分でありたいと願うこの頃です。

秋空の下、体育祭を開催

＝人気は恒例の部活紹介行進＝

9月7日(土)、創立102年目の九州学院体育祭が開催されました。

開会式の午前9時には、来客用のテント席は保護者で満席となり、応援の歓声が一日中グラウンドに響きました。

恒例の部活紹介の行進では、宗教部の敬愛会、生徒会を先頭に文化部、体育部の部員たちがそれぞれにユニフォームに身を包んでグラウンドを一周すると、大きな拍手がわき上がりました。

高校女子全員による創作ダンスや、チアダンス部の演技など、女子の総数が全校生徒の40％近くを占める現在、女子の活躍が目立つ体育祭でした。

なお、今年も育友会から冷たいミネラルウォーターが全員にプレゼントされました。

今年度から新たにプログラムに加わった女子のクラブ対抗リレー

「見えないものを見る」

九州学院チャプレン　富島裕史

6歳の少女の初めての山登りをささえたのは、どこからか見ていてくれるカモシカの目だったそうです。このことを知ったのは、皇后陛下の著書「はじめてのやまのぼり」という絵本でした。皇后陛下は「人のあり方や行為が、時として、外からは測ることの出来ない思いに支えられていることを知り驚くことがあります」と仰せになられています。

思い、それは大きな力を生むのですね。思いは、言い換えると信じることです。信仰といっても良いと思います。聖書では、病気が治らずに12年間も苦しみ、全財産を失くした女性が、イエスの衣にでも触れさえすれば癒していただけると思い、癒された出来事が記されています。その時、イエスは、「あなたの信仰があなたを救った」と言われました。

両腕を失った大野勝彦さんの「夢は叶う、思いが強ければ」と言う講演を聞いたことがあります。夢が叶わないのは、思いが弱いからだと言われていました。そう思われるのには、見えてきたものがあったからです。「こんなにも用意されたシーン。神の存在を認識したのは、事故後のベッドの上であった」。両腕を失って、初めて見えないものが見えてきたのです。

見えないものに支えられて、私たちの人生の山登りを続けて行きましょう!

神に感謝!

校訓実践の勇気ある行動

6月17日(月)、外部から次のようなお電話が学校にかかってきました。それは「九州学院の一人の生徒さんが、熊本駅のホームで転倒して怪我をしていた女性を助けたので、その生徒さんを褒めて下さい」という有難い内容のものでした。

その生徒はとっさの判断ながら実に適切に対処し、周りで観ていた人たちが感心するような素晴らしい態度でその人を救助したのとのことです。持っていた校名入りのクラブのバッグから九州学院の生徒であることが判ったそうです。

4月にもやはりクラブ生数名が下校中に、身体の具合が悪くて困っていた女性をみんなで助け、家まで送って立ち去ったそうです。着ていた制服から九州学院の生徒だと判り、ご本人からお礼の電話を頂きました。

心温まるこのような出来事はほんとうに嬉しいものです。皆さん、ありがとうございました。

「自分で自分を監督し、役に立つ善人となれ」

(遠山参良九州学院初代院長)

欧州からの留学生が帰国
ジュリエットさん(フランス)アントン君(フィンランド)

ジュリエットさん(左から2人目)
アントン君(右から2人目)

ボランティア団体海外大学日本事務局「dlBec」のお世話で、昨年の9月から九州学院に留学をしていた、フランスのジュリエット・クロデさんと、フィンランドのアントン・エスカネン君が、6月14日(金)の朝に帰国の途につきました。

二人は約10ヶ月間ホームステイ生活をしながら九州学院に通い、日本語や日本の文化などについて勉強をしてきました。またクラブ活動(弓道部・ESS)に積極的に参加するなど、日本での高校生活を十分に楽しんだようです。

お世話をいただいたホストファミリーの皆様、クラスメイトや、関係各位に厚く御礼を申し上げます。

高校新生徒会役員

会長　森　聡一郎
副会長　坂梨　直輝
書記　荒木和佳奈
書記　西　祐花子
会計　河野　佑実
会計　松永　健人

高校入試説明会&オープンキャンパス参加者1400名

8月24日(土)、九州学院体育館において、2014(平成26)年度の入試説明会&オープンキャンパスを開催しました。

午前に熊本市地区、午後は熊本市以外の中学校の生徒と保護者を対象に行ない、参加者は午前、午後合わせて1400名を超える盛況ぶりでした。

会場となった体育館内は大勢の参加者の熱気も加わり相当な暑さとなりました。

熱中症対策のために氷柱と大型扇風機を各所に設け、参加者全員に冷たいミネラルウォーターを配布しました。

参加者の皆さんには長時間にわたる入試説明会にご参加を頂き厚く御礼を申し上げます。

「大学合同説明会」を九学ホールで開催

7月2日(火)13時半～16時まで、九州学院3号館ホールにおいて、恒例の大学の合同説明会が開催されました。今年も東京、関西、福岡、熊本などから26の大学や短大が参加。各大学の職員や先生たちが資料を配布し、直接生徒たちに説明を行い質問に答えていました。

九州地区高校野球
熊本大会ベスト4

10月13日(日)、第133回九州地区高校野球大会準決勝で、九州学院は多良木高校に1対2で敗れ、2年ぶりの九州大会出場をあと一歩で逃がしました。

九州学院は2010年夏に久々に甲子園に出場しベスト8入りすると、2011年、2012年の春のセンバツに連続して出場しましたが、その後はやや低迷しています。

しかしながら、新チームは一年生投手の伊勢をはじめレギュラーの6名が一年生からなる前途有望なチームで、準決勝で敗れたとはいえ、来年の夏の甲子園に期待が持てる楽しみなチームです。是非、頑張って欲しいものです。今後とも、皆様方の物心両面にわたるご声援をよろしくお願い致します。

九学紹介DVD2013
テレビ番組でも紹介

7月10日、11日の2日間、「九州学院学校紹介DVD2013」制作のための撮影を行いました。

放送部の男女二人がナビゲーターを務め、高校を中心に中学校、幼稚園の授業風景やクラブ活動の様子やキャンパス内の施設などを紹介し、オーストラリアからの留学生2名へのインタビューも行いました。

恒例の全校の兄弟姉妹の在校生154名の集合シーンは、いつもながら大変な賑わいでした。

また、9月19日には人気タレントのおがったちが取材に来校し、10月13日(日)のTKUテレビ番組「私立高校を徹底調査！集まれ中学生!!2013」で放送されました。

9月16日(祝)～「くまもとオーストラリア・ウイーク2013」

熊本日豪協会設立40周年記念「くまもとオーストラリア・ウイーク2013」が、9月16日(祝)から23日(祝)の一週間、熊本市中央区花畑町にある崇城大学ギャラリーを中心会場として開かれました。

このイベントは熊本市が共催となっており、熊本城、動植物園などでも様々な催し物が行われました。23日の最終日には、くまもと森都心プラザホールで「くまもと日豪交流音楽祭」が行われ、第二部「青少年交流」では九州学院のオーストラリアからの留学生エイドリアン君もステージに立ちました。

IEC英語暗誦大会
九学中・高勢が上位を独占

7月6日(土)やつしろハーモニーホールで開催された第38回IEC熊本国際大学校総合英語暗誦大会で多くの九州学院の中高生が上位入賞を果たしました。

大会の結果は次の通りです。

UWP杯　田畑華子(高1)
理事長杯　米野　斐(中3)
〈中学1年生の部〉
優勝　岩根有咲(中1)
〈中学3年生の部〉
優勝　米野　斐(中3)
2位　大野真昂(中3)
3位　工藤　唯(中3)
〈高校1年生の部〉
優勝　田畑華子(高1)
2位　梅田遙霞(高1)
3位　吉永　陽(高1)

「没後50年 高濱虎喜回顧展」

日時　2014年2月3日～9日
場所　県立美術館分館ギャラリー
入場　無料

1894年生まれ。第六回帝國美術院展覧会特選、文部大臣賞「天草の女」でデビュー。九州学院をはじめ、いくつかの学校で教壇に立ちながら画業に邁進し、多くの作品を残しました。

プロフィール

高二特進の2クラスを対象に「ライフプランニング」の特別授業

9月17日(火)の午後、高校二年の特進の2クラスを対象に「ライフプランニング」の特別授業が行われました。

この授業では、ヴァーチャルの体験を通して家族全員の未来を描き、あるいは予測し、将来の家族の年度別の収支状況などの見通しを立て、それらをライフプランナーと共に検証するものです。

同窓会のページ①

東京九学会
東京KG会主催「新入生歓迎会」に60人が参加
＝東京KG会 新入生歓迎会紀行＝

関東地方が例年の15日早く梅雨明けした7月6日猛暑の中、東京KG会新入生歓迎会が開催されました。

日の出桟橋から浅草までの隅田川クルーズ。船内では早速昔話で盛り上がり、下船後みんなで東京スカイツリーをバックにパチリ！

懇親会では新入生から諸先輩方まで60名の九学OBOGが下町浅草に集結しました。

KG会会長永谷隆吏氏（S39回）の挨拶で歓迎会スタート！美味しい料理と昔話で盛り上がった所で新入生と現役の学生の自己紹介。

東京九学会会長の島本氏も参加頂き新入生を激励されました。

文・倉永一郎（S44回）
写真・宮田哲治（S43回）

関西支部
総会・懇親会を開催

6月1日㈯午後6時から、ホテル「ホップイン」アミング（兵庫県尼崎市）において、2013年度九州学院同窓会関西支部の総会・懇親会が行なわれました。

熊本県大阪事務所本坂所長をはじめ、関西にある熊高、済々、第一など各高校同窓会代表7名を来賓に迎え、九州学院からも池永事務長、小崎同窓会参与、小手川同窓会広報委員長が参加しました。

今年の参加者は、3月に卒業したばかりの大学生（同志社・関大・甲南大など）の新会員11名を含む13人の学生を中心に約50名を数え、会場は若いエネルギーで活気に満ち溢れていました。

各テーブルではお互いの近況報告や学生時代の思い出話などに花が咲き、大いに賑わいました。なお、今回も同志社大の河崎華子さん（S62回）が名司会を務めました。

なお、総会において、同支部の名称が「関西九学会」に変更となることが議決されました。

平成25年度 東京九学会定時総会・懇親会のご案内

日時　平成25年10月19日㈯
受付　総会　16時30分
　　懇親会　17時30分～20時
場所　東京グランドホテル
連絡先　髙森重視幹事長
　　090-5792-0100

各地の同窓会

6月1日	関西九学会
22日	八代九学会
7月6日	東京KG会
24日	宇城市同窓会
8月24日	九学天草会
9月14日	阿蘇中部同窓会
10月19日	東京九学会（予定）
11月9日	神奈川支部（予定）

九学OB 歴代6人が五輪に出場

2020年に東京でオリンピックが開催されることになりました。誠におめでたいことです。

これまで九州学院からは名誉卒業生の山下泰裕氏を含め6人のオリンピック選手を輩出しています。

現在の高校生は2020年には23歳～25歳となり、アスリートとしては一番脂の乗り切る頃でしょう。是非卒業生の中から新たなオリンピック選手が出てくることを期待したいものです。

頑張れ！九学生たち！

――・――・――

清藤　亨（S3回）陸上／メルボルン
吉無田春男（S10回）水泳／ローマ・東京
木庭　浩一（S28回・九州学院現ボクシング監督）ボクシング／モスクワ
浦田　春生（S32回）陸上／バルセロナ
末續　慎吾（S51回）陸上／シドニー
山下　泰裕（S28回・名誉卒業生）柔道／モスクワ・ロスアンゼルス

九州学院OB ゴルフ大会を開催

6月6日㈭、城南カントリークラブにおいて、祭九学会（S41回実行委員会）主催の第8回九州学院OBゴルフ大会が開催されました。今回は平日にもかかわらず160名が参加。天候にもどうにか恵まれ、和気あいあいとしたムードの中で盛会の内に終了しました。

なお、このゴルフ大会は、9月に行われる藤崎宮秋の例大祭の当番学年が主催し、同窓会の親睦と母校の発展に寄与することを目的に毎年この時期に行っているものです。

九州学院経済交流会 小杉康之氏（S30回）が新会長に就任

九州学院中学校・高等学校を卒業した経済人の会「九州学院経済交流会」の平成25年度役員会及び総会、懇親会がホテル日航熊本で行われました。

会には約50名の会員（全会員165名）が参加し、熊本の経済発展について活発に情報交換を行いました。

今年度は役員改選の年で、会長本田一氏（S10）［鶴屋百貨店相談役（取締役会長）］にかわり、新会長には小杉康之氏（S30）㈱コスギ不動産代表取締役）が選出され、20数名の新役員と共に承認されました。

総会の後は、国内外で活躍中のTMI総合法律事務所遠山友寛氏（S21）による「人生の転機・九州学院」という演題にて講演が行われ、遠山氏の同級生なども集まり話に聞き入ってました。

学年同窓会に通信費を補助

同窓会では、これまで卒業10周年、20周年と10年刻みで学年同窓会の通信費補助（1通あたり80円）を実施してきましたが、今年度から全ての学年を対象に通信費補助を行うように改めました。（ただし1通あたり50円補助）。

これを機会にぜひ学年同窓会を開いてみませんか。

詳細は同窓会事務局にお尋ね下さい。
TEL 096-366-4533
（月～金　10時～16時）

拉致被害者松木薫氏（S24回）60歳の誕生日に救出求める署名活動

6月13日、九州学院OBで北朝鮮による拉致被害者の松木薫氏（S24回）が満60歳の還暦の誕生日を迎えました。この日に合わせ、支援団体「救う会熊本」（加納良寛会長）が、熊本市中央区の下通商店街で救出を訴える署名活動をしました。

松木氏は京都外大大学院1年生時にスペイン留学中の1980年、小旅行中のオーストリアで石岡亨さんらと消息を絶ち、その後、北朝鮮にいることが判明しました。2002年に警察庁が拉致被害者と認定し、北朝鮮から遺骨が日本政府へ引き渡されましたが、鑑定の結果、別人のものと断定されています。

松木さんの姉斎藤文代さんは「92歳の母は何もわからなくなったが、薫のことだけは返事をするんです。薫が日本に帰ってくるまでどうか応援してください」と、支援を呼びかけました。

百周年記念グッズを大幅値下げ 50%～28%オフに

このたび、創立102年目のスタートにあたり、2011年の創立百周年記念グッズを大幅値下げすることとなりました。

- ジッポライター（シリアルナンバー入り）
- 記念DVD（ミズーリ号秘話）
- 記念タオル

各品目ともに在庫が少なくなっていますので、お早目にお申し込み下さい。宜しくご協力のほどをお願い致します。

＊詳細は九州学院同窓会事務局にお問い合わせください。
096-366-4533
（土日お休み　10時～16時まで）
（送料：全国一律500円＋代引手数料：270円）
＊郵便振替の場合は前払となります。

旧制25回OB特別寄稿

「私と九州学院」

坂井敏明（旧25回）

「私の父は九州学院旧制第1回の卒業生である。私は白川小学校5年より飛び級で九州学院に入学。卒業後は五高に行くことに憧れていたが、父の転勤（朝日新聞支局長）のために六高（岡山）に進学した。学徒動員で昭和18年末に在学期間2年足らずで仮卒業し、そのまま入隊し幹部候補生となった。昭和19年に六高を正式卒業となり、運よく成績により東京大学法学部に合格したが、大学に籍を残して久留米予備士官学校に入校。ジャワスマラン予備士官学校に転校の後に同校を卒業し、菊兵団に入隊しサ号作戦などに参加した。昭和20年8月終戦少尉任官の後、捕虜収容所を経て帰国し東京大学に復学した。昭和23年9月に三菱重工業下関造船所に入社した。長年にわたり営業一筋に三菱の営業最高責任者として600隻以上を扱った。中でも有名な船舶は、日本郵船の飛鳥、商船三井のさくら丸、にほん丸などである。

これまでの人生において、友人との対話、得意先との折衝など、すべてその基となったのは九州学院時代に学んだ「敬天愛人」の精神であり、これがどれほど私の成長の過程に役に立ったかは計り知れない。私も90才を過ぎ、人生の残りも少なくなってきたが、「敬天愛人」の精神を今後も誇りと満足をもって持ち続けて行くつもりである。」

坂井氏は、寄稿の1ヶ月後の9月13日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り致します。

「藤田八郎杯（ハンドボール）」藤田氏は九学OB（旧26回）

九州学院が今年20年ぶりに優勝した「藤田八郎杯争奪1年生ハンドボール大会」の、藤田八郎氏は九州学院OB（旧26回卒・旧職員重武先生と同級生）で、現在は千葉在住で今年90歳になられます。

長年にわたり濟々黌で教鞭をとられ、ハンドボール部の監督として活躍をされ、県のハンドボール界にも多大な貢献をされました。同氏の功労を記念し、1985年に「藤田八郎杯争奪1年生ハンドボール大会」がスタートしました。

未だかくしゃくとした藤田氏は90歳とは思えぬ元気さで、先の大会にも千葉から来熊し試合を観戦されました。

学校案内パンフの表紙は葉祥明氏（S17）の特別作品

九州学院のOBで絵本作家の葉祥明氏（S17回・1965年卒）のご厚意により、2014年版学校紹介パンフレットの表紙絵を特別に描いて頂きました。タイトルの「夢がここできっとかなう」という文字もご本人が書かれたものです。

絵の題名は「夢の学校」というもので、パステルカラーでほのぼのとした感じに仕上がっています。

同窓会のページ②

宮本選手（S65回）バルセロナ水泳世界選手権女子800R8位

8月1日㈭、バルセロナで行われている水泳の世界選手権第13日、競泳女子800メートルリレーの日本（五十嵐、上田、宮本、高野）は8位に入りました。

日本チームの第3泳者の宮本靖子選手（S65回・東洋大1年）は、力強い泳ぎでアンカーに繋ぎました。

また、9月に広島市総合屋内プールなどで行われた水泳の日本学生選手権競泳女子200メートル自由形でも2分0秒81の2位に入賞する活躍でした。

福田洋二氏（S16回）具志堅の元トレーナーとして活躍

今やお笑いの番組でお茶の間の人気ものとなっている具志堅用高氏は、プロボクシングのライトフライ級の元世界チャンピオンで、13度の防衛を誇る無敵のボクサーでした。

その具志堅が7度目の防衛をした後からトレーナーとなったのが、実は、九州学院ボクシング部のOB福田洋二氏（福田ボクシングジム会長・S16回）でした。世界戦の前には福田氏が鬼のキャンプを行って調整にあたり、その後の防衛回数の記録更新に大いに貢献したことは実に名誉なことです。

上原絵美さん（J58回・ポーランド国立バレエ団）県立劇場で公演

ポーランド国立バレエ団に所属している、プロバレリーナの上原絵美さん（J58回）が1年ぶりに帰国し、8月18日に熊本県立劇場で公演された「ユリコバレエスタジオ20周年記念公演『眠れる森の美女』に出演しました。

この公演では、国内外で活躍する同バレエスタジオの12名の卒業生と共に踊り、現在同バレエスタジオで学ぶ二人の九州ルーテル学院の生徒も出演しました。

上原さんは昨年5月にポーランド国立バレエ団のオーディションの途中に右股関節を脱臼するというアクシデントに見舞われ緊急手術を受けながらも、見事「合格」しました。昨年、手術の後に一時帰国し熊本で約3ヶ月に及ぶリハビリ治療を受け、その後もワルシャワで調整を続けた後、今年の5月頃にやっと本格的にステージに立てるようになりました。

大変な苦労を乗り越えて今回の公演にこぎつけただけに、上原さんにとっては一際嬉しいステージとなったようです。

西山一星氏（S56回）「熊本わくわくボーイズ」熊本の水をPR

九州学院OBでタレントの西山一星氏（S56回・エレガントプロモーション〈福岡〉所属）は、熊本市からの任命により「熊本わくわくボーイズ」という活動を行っています。

これは熊本市の水質保全や管理の活動が国連に認められたのをきっかけに、熊本の水の素晴らしさを広めることを目的にしたものです。西山氏は福岡の芸能プロダクションに所属し、熊本でもテレビ番組などに出演しています。

阿部寛樹氏（S47回）食品コンクール「三つ星」を受賞

阿蘇で牧場を経営する、阿部寛樹氏（S47回）が製造、販売する「牛乳」と「のむヨーグルト」のふたつの製品が、国際味覚審査機構（本部・ベルギー）の2013年食品コンクールで最高ランクの「三つ星」をダブル受賞しました。

牛乳、飲むタイプのヨーグルトが三つ星を獲得するのは、いずれも国内で初めての快挙です。

国際味覚審査機構は世界の食品や飲料品の味覚と品質を審査、表彰する機関で「食品のミシュランガイド」と称され、審査は欧州の調理師協会と国際ソムリエ協会のメンバーが実施するものです。

高濱英俊氏（S28回・彫刻家）空港ビルで作品展

九州学院OBで彫刻家の高濱英俊氏（S28回）が8月（一ケ月間）に阿蘇くまもと空港ビルで、生命を象徴する水をテーマにした、作品展を開き、その際母校を訪問しました。

高濱氏は不知火町の出身で、九州学院を経て東京芸術大学、大学院に進学。卒業後は埼玉にアトリエを構え（現在は群馬に移転）、彫刻家として関東で制作活動を展開しています。

現在九州学院のキャンパスには、1号館ロビーの90周年記念「敬天愛人」の像をはじめ、高濱氏の三つの作品が設置してあります。

お笑いコンビ「からし蓮根」（S64回）日本一目指し決勝へ

九州学院出身の杉本青空氏と松本伊織氏（共にS64回）のお笑いコンビ「からし蓮根」が、日本テレビの「ワラチャン！U－20お笑い日本一決定戦」で激戦を勝ち抜き、12月11日午後9時から全国ネット生放送の同番組の決勝戦に出場します。

全国から応募した1278組の中から勝ち抜いた8組のみが決勝戦に進めるという狭き門を突破した二人は、高校1年生の時以来コンビを組み、日本総合芸能学院（NSC）で研鑽を積んできました。

下城正臣氏（S11回）小説「萱（かや）の青春」を発刊

九州学院OBで、新俳句人連盟熊本支部長、日本民主主義文学会熊本支部編集長を務める下城正臣氏（S11回）が、このほど小説「萱（かや）の青春」を発刊しました。

戦争末期に青春時代を過ごした親の世代、その次の世代の兄弟の人生を描いた読み応えのある作品です。

卒業生からのメッセージ

九州学院で得たもの

九州大学工学部地球環境工学科
錦戸　響（西合志南中出身）
理数特進コース　奨学生A

私は高校の3年間をこの九州学院で過ごしました。この3年間で学んだこと、得たものは一生の宝です。

九州学院に来てよかったと思うことはたくさんありますが、その中から2つ挙げたいと思います。

1つ目は何か頑張りたいことに集中して取り組むための「人」がいることです。

朝早くから夜遅くまで、また土日祝日までも部活や課外授業をしてくれる先生がいます。そして、苦しいときに支えあいながら、競い合える仲間がいます。たとえ競技が違っても、お互い励まし合い、切磋琢磨して頑張っていくことができました。

例えば、特進コースの生徒は総体や甲子園など、部活動の応援に積極的に参加しました。一方、センター試験の前には、「応援してくれたお礼。」と言って、特技クラスの生徒が、特進コースのクラスの私たちに、手作りコメント入りのお守りをプレゼントしてくれるというサプライズもありました。一生懸命頑張っている仲間同士、励まし合い、自然と頑張って行けるのです。

2つ目は人として成長できることです。九州学院では挨拶や感謝すること、私生活の指導に特に力を入れています。まずは人間性が大事ということです。これはこれから生きていく上で重要なことです。これらのことをおろそかにしている人は良い結果を残すことができません。九州学院で良い結果を残してきた人達を見れば大事に考え、人への感謝の心を大切にし、人間性を磨いていく中で、自分を成長させる事ができるのです。

私が第一志望の九州大学に進学できたのは上の2つのことが九州学院にあったからだと思います。

みなさんも是非九州学院に入学して、ここでしか得られないものを得てください。

最高の場所「九州学院」

同志社大学政策学部政策学科
仲田　直人（大阪府羽曳野市第二中出身）
普通コース　元高等学校生徒会長

今、大学生になって思うことは、九学にきてよかったということです。わたしは、3年間九州学院に通い、たくさんのものを手に入れることができました。たくさんの思い出や、かけがえのない友人、恩師の先生との出会いなど、数えれば、きりがないほどです。その中でも、九州学院では多くのすばらしい先生方に出会うことができました。

私は、野球部に所属し、心身ともに鍛えてきました。中学までとは違い、高校の練習は、学校が終わってからすぐにはじまり、夜も遅くまで練習していました。また、練習内容もハードなもので、つらい時もありましたが先生方の励ましの言葉やアドバイスのおかげで乗り越えることができたと思います。また、技術面のみならず、一人の人間として、精神的にも多くのことを学ぶことができました。

高校3年生の時には、生徒会長も務めさせていただき、さらに大きく成長することができたと思います。生徒会では、九州学院の1000を超える生徒を一つにまとめ、様々な行事を実行してきました。1000人以上の生徒をまとめることは、大変難しいものでした。しかし、生徒会の先生をはじめ、各学年の先生方にアドバイスやご指導いただき、何とかそれぞれの行事を無事に成功させることができました。もちろん、先生方の他、全生徒の協力なしでは、成功させることは、できませんでした。また、勉強の面においても、部活動との文武両道を目指し、努力してきました。あまり多くの時間が取れなかったため、担任の先生や各教科の先生に相談したところ、熱心に相談に乗ってくださり、様々な勉強方法やコツなどを教えていただきました。

今、思い返すと、私自身の可能性を先生方が十分に引き出してくれていたと思います。私にとって、この九州学院という環境は、自分自身を高めるためには最高の場所であったと思います。そのおかげで今の私があり、これからの私があるのだと思います。

これから九州学院の一員として新たなスタートを切ろうとしているみなさんは、多くの不安を抱えていることだと思います。しかしあと少しの勇気を出して一歩前に踏み出してみませんか？その踏み出した先では、最高の場所で最高の友と最高の先生たちが出迎えてくれるはずです。

出会いと成長の場

ホスピタリティーツーリズム専門学校
加藤　葵（波野中学校）
普通コース　熊本県がんばる高校生表彰受賞者

私が九州学院で過ごした3年間は、学校生活や部活動を通じて、たくさんの思い出や学んだこと、そして、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、在学中、普通コースに在籍し、チアダンス部とボランティア部に所属していました。練習や大会、イベント出演やボランティア活動など、平日休日問わず忙しい日々を送る中で、勉強と部活動を両立させることは大きな課題でもありました。そんな中で支えてくださったのが、先生方です。私は先生方のたくさんのサポートのおかげで、大会前のつらい時期でもテストを乗り切ることができました。

部活動では、ダンスはもちろん、あいさつや基本的な生活態度も厳しく指導していただきました。全国大会で結果を残すことができるよう、また、学校全体の女子生徒の見本になれるように、チームメイトと意識を高め自分を律しながら生活していた日々は、私を人間的に成長させてくれたと感じています。

高校3年生の時、私は県のがんばる高校生として表彰していただきました。このような賞を受けることができたのは、基本的なことを指導してくださった部活動の監督をはじめ、一緒に頑張ったチームメイト、そんな私たちを見守りながら力になってくださった先生方、そして、その全ての人と出会うことのできた九州学院に通わせてくれた両親や祖父母など、たくさんの人のおかげだと思います。今まで私に関わってくださった全ての人に、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

私は今、大阪にある専門学校の夜間部へと進学し、日中は企業研修としてホテルで働いています。まだまだ失敗も多いですが、一生懸命頑張っています。教育目標の後半の言葉「役に立つ善人となれ」。この言葉通りの人間になれるよう、これからも少しずつ頑張っていきたいと思います。

九州学院は、私にとって、たくさんの出会いと成長の場でした。これから入学されるみなさんにとっても、意義ある場所となることを心から願っています。

部活などの戦績その他
5月16日～10月14日迄

水泳部

全九州高校選手権（7月13～15日）
〈福岡県立総合プール〉
男子団体総合優勝（3連覇）
▽男子50m自由形
6位 堀田 諒（1年）
▽男子100m自由形
1位 福原 賢二（3年）
▽男子200m自由形
1位 齊藤 凌（3年）
2位 瀬戸口裕嗣（3年）
3位 福原 賢二（3年）
▽男子400m自由形
1位 野間剣太朗（3年）
3位 瀬戸口裕嗣（3年）
▽男子1500m自由形
5位 渡邉 瑞輝（2年）
▽男子200m背泳ぎ
6位 野間剣太朗（3年）
▽男子200m平泳ぎ
4位 鮫島 悠輔（1年）
▽男子200m個人メドレー
1位 齊藤 凌（3年）（大会新）
▽男子400mリレー
1位（大会新）
齊藤 凌（3年）
野間剣太朗（3年）
瀬戸口裕嗣（3年）
福原 賢二（3年）
▽男子800mリレー
1位（大会新）
齊藤 凌（3年）
野間剣太朗（3年）
福原 賢二（3年）
瀬戸口裕嗣（3年）
▽男子400mメドレーリレー
1位
野間剣太朗（3年）
鮫島 悠輔（1年）
瀬戸口裕嗣（3年）
齊藤 凌（3年）

熊本県高等学校選手権（9月7～8日）
〈アクアドームくまもと〉
▽男子50m自由形
5位 嶋田凜太郎（1年）
▽男子100m自由形
5位 原田 大輔（1年）
▽男子200m自由形
4位 鮫島 悠輔（1年）
▽男子400m自由形
1位 渡邉 瑞輝（2年）
▽男子50m背泳ぎ
6位 村上 航（1年）
▽男子100m背泳ぎ
1位 道喜 海成（2年）
6位 山田 皓太（2年）
▽男子200m背泳ぎ
1位 道喜 海成（2年）
2位 山田 皓太（2年）
▽男子50m平泳ぎ
2位 上船 彰大（2年）
▽男子50mバタフライ
1位 堀田 諒（1年）
▽男子100mバタフライ
2位 堀田 諒（1年）
4位 山口 将平（2年）
▽男子200mバタフライ
2位 渡邉 瑞輝（2年）
3位 山口 将平（2年）
5位 浦田 力（2年）
▽男子200m個人メドレー
3位 島田凜太郎（1年）
4位 古木 浩輔（1年）
▽男子400m個人メドレー
1位 鮫島 悠輔（1年）
5位 古木 浩輔（1年）
▽男子200mメドレーリレー
2位 道喜 海成（2年）
鮫島 悠輔（1年）
渡邉 瑞輝（2年）
堀田 諒（1年）
▽女子50m自由形
3位 宮本 瑶子（1年）
▽女子100m自由形
2位 宮本 瑶子（1年）
▽女子100m平泳ぎ
5位 松本穂乃佳（2年）
▽女子200m平泳ぎ
3位 松本穂乃佳（2年）
▽女子200m個人メドレー
1位 近藤 未来（1年）
▽女子400m個人メドレー
1位 近藤 未来（1年）
2位 向山 ゆき（2年）
▽女子200mフリーリレー
2位 宮本 瑶子（1年）
向山 ゆき（2年）
近藤 未来（1年）
松本穂乃佳（2年）
▽女子200mメドレーリレー
2位 向山 ゆき（2年）
松本穂乃佳（2年）
近藤 未来（1年）
宮本 瑶子（1年）

バスケットボール部

九州高校総体（6月21～23日）
〈宮崎県県体育館〉
ベスト8

一年生大会（8月3～5日）
〈第二高校〉
優勝

剣道部

全九州高等学校体育大会（7月13・14日）
〈鹿児島アリーナ〉
▽団体 2位
▽個人
3位 真田 裕行（3年）

宮本武蔵顕彰高校剣道大会（8月12日）
〈岡山武道館〉
▽団体 1位
▽個人
1位 山本 冬弥（2年）

柔道部

九州大会（6月16日）
〈長崎県諫早市中央体育館〉
▽100kg超級
優勝 坂田 大起（3年）
▽81kg級
5位 園田 剛史（3年）
▽73kg級
5位 池田 元（2年）

九州ジュニア体重別選手権（7月7日）
〈福岡武道館〉
▽60kg級
3位 米村 克麻（3年）
5位 山本 里音（1年）

県1年生大会（7月13日）
〈熊本武道館〉
▽60kg級
優勝 園田 悠太（1年）
2位 山本 里音（1年）
▽90kg級
2位 辻田 雅光（1年）
▽100kg級
3位 工藤 峻佑（1年）
▽57kg級
3位 岩永 実奈（1年）

金鷲旗大会（7月24日）
〈福岡マリンメッセ〉
▽5回戦（ベスト32）

山鹿灯籠旗全国高校柔道大会（7月25日）
〈山鹿市総合体育館〉
▽団体
3位

ハンドボール部

第28回藤田八郎杯1年生大会（8月21・22日）
〈熊本県立総合体育館〉
優勝
最優秀選手賞
塚本 祐太（1年）
得点王
福島 政吾（1年）
ジープ賞
永田 祐典（1年）
ゴールデンGK賞
本石賢太郎（1年）
ゴールデンルーキー賞
毛利 大彪（1年）

コスモスカップ大会（9月22日）
〈小林秀峰高校〉
準優勝
▽個人賞 ベスト7
池田 諒太（2年）
今村 優太（2年）

ソフトテニス部

八代市協会長杯（8月24日）
〈八代コミュニティ〉
▽決勝トーナメント
3位 益﨑 晃洋（1年）
豊田 斉（2年）
▽3・4位トーナメント
優勝 田中 元康（2年）
石本 大聖（2年）

チアダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2013全国大会（8月11日）
〈東京体育館〉
▽ソングリーダー部門
ミディアム編成 4位
※特別賞（ベストオブスマイル賞）受賞

第13回全日本チアダンス選手権大会九州大会（9月21日）
〈福岡市九電記念体育館〉
▽POM部門
高校生SMALL編成
第一位
※全国大会（12月7日）
出場権を得る

弓道部

平成25年度国体弓道少年男女県代表決定大会（6月16日）
〈熊本市南部総合スポーツセンター弓道場〉
▽男子 第2位

第1回大津地蔵祭高校生弓道大会（8月24日）
〈大津町弓道場〉
▽男子団体
第3位 九州学院A

テニス部

県高校夏季テニス選手権大会（8月10～12日）
〈県民総合運動公園〉
▽女子2年生シングルス
2位 大海 朋佳（1年）
▽女子2年生ダブルス
2位 林 成美（1年）
大海 朋佳（1年）
▽女子1年生シングルス
2位 山本 佳奈（1年）

ボクシング部

九州高校総体ボクシング競技（6月21～23日）
〈佐賀諸富文化体育館〉
Aパート
▽Lフライ級
3位 堤 聖也（3年）
Bパート
▽バンタム級
2位 内山 未来（2年）

九州ブロック国体ボクシング競技（8月23～25日）
▽Lフライ級
優勝 堤 聖也（3年）

空手道部

全九州高校総体（7月12～14日）
〈別府アリーナ〉
▽男子団体組手 3位
▽個人組手
3位 牛島 諒（3年）
▽女子団体組手 2位
▽個人組手
3位 沖田 理奈（2年）

九州大会（ミニ国体）国体予選（7月20～21日）
〈アクシオン福岡〉
▽少年個人形
2位 寺川 太清（3年）

自転車競技部

九州高等学校体育大会（6月14～16日）
〈鹿児島県根占競技場〉
▽3km個人追抜
1位 河津 賢人（3年）
▽ポイントレース
3位 河津 賢人（3年）
▽チームスプリント
2位 大久保 冠（3年）
古森 雄飛（3年）
藤森 駿介（3年）
▽学校対抗 4位

全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会（6月9日）
〈秋田県大潟村〉
▽男子ジュニアの部
5位 河津 賢人（3年）

JOCジュニアオリンピックカップ（8月17日）
〈静岡県伊豆〉
▽スクラッチレース
1位 中村 賢人（3年）
▽3km個人追抜
7位 河津 賢人（3年）

全国都道府県対抗自転車競技大会（8月25～27日）
〈長崎県壱岐市・佐世保市〉
▽4kmチームパーシュート
8位 木原 孝明（2年）

男子陸上部

全国高校総体南九州予選（6月13～16日）
〈うまかな・よかなスタジアム〉
▽総合 3位
▽トラック 3位
▽100m
2位 北村 将大（3年）
▽200m
2位 上野 涼（3年）
5位 佐竹 拳静（3年）
6位 北村 将大（3年）
▽400m
2位 上野 涼（3年）
▽5000m
4位 近藤修一郎（3年）
▽3000mSC
7位 山下 賢明（3年）
▽4×100mR
2位 中村 拓都（1年）
上野 涼（3年）
佐竹 拳静（3年）
北村 将大（3年）
▽4×400mR
2位 松原秀一郎（1年）
佐竹 拳静（3年）
北村 将大（3年）
上野 涼（3年）

第42回学年別陸上競技大会（7月6日）
〈うまかな・よかなスタジアム〉
▽1年100m
1位 中村 拓都（1年）
▽1年200m
3位 江藤 拓都（1年）
▽1年1500m
3位 中川 翔太（1年）
5位 上田 結也（1年）
8位 濱田倫太朗（1年）
▽2年1500m
8位 久保 和馬（2年）
▽共通400m
5位 緒方 政弥（3年）
8位 松原秀一郎（1年）
▽共通110mH
8位 野中 渓人（2年）
▽共通棒高跳
1位 中村 仁（1年）
▽共通4×100mR
2位 中村 仁（1年）
中村 拓都（1年）
山下 泰生（2年）
松原秀一郎（1年）
▽共通4×400mR
3位 山下 泰生（2年）
松原秀一郎（1年）
野中 渓人（2年）
江藤 拓都（1年）

国体最終予選（7月13～14日）
〈うまかな・よかなスタジアム〉
▽少年A100m
1位 北村 将大（3年）
4位 佐竹 拳静（3年）
▽少年A400m
1位 上野 涼（3年）
▽少年A5000m
2位 近藤修一郎（3年）
4位 垂水 隆（3年）
7位 林田 元輝（2年）
▽少年A110mH
7位 山下 泰生（2年）
▽少年B200m
2位 中村 拓都（1年）
5位 松原秀一郎（1年）
▽少年B3000m
1位 上田 結也（1年）
2位 中川 翔太（1年）
3位 髙田凜太郎（1年）
▽少年共通棒高跳
1位 中村 仁（1年）

九州陸上選手権大会（8月23～25日）
〈長崎県立運動公園陸上競技場〉
▽4×100mR（県高校新）
1位 佐竹 拳静（3年）
上野 涼（3年）
北村 将大（3年）
中村 拓都（1年）
▽ジュニア100m
1位 北村 将大（3年）
8位 中村 拓都（1年）

熊本県新人陸上選手権大会（9月13～15日）
〈うまかな・よかなスタジアム〉
▽総合 2位
▽トラック 1位
▽100m
1位 中村 拓都（1年）
▽200m
1位 中村 拓都（1年）
6位 江藤 拓都（1年）
▽1500m
4位 髙田凜太郎（1年）
7位 洲崎 遥平（2年）
▽5000m
1位 林田 元輝（2年）
3位 久保 和馬（2年）
▽400mH
4位 野中 渓人（2年）
▽3000mSC
1位 中神 文弘（2年）
2位 木村 光佑（2年）
▽4×400mR
1位 江藤 拓都（1年）
松原秀一郎（1年）
山下 凌（1年）
中村 拓都（1年）
▽棒高跳（大会新記録）
1位 中村 仁（1年）
▽走幅跳
6位 山下 泰生（2年）

九州選抜高校駅伝（9月22日）
〈九重町〉
2位 林田 元輝（2年）
森下 史崇（2年）
近藤修一郎（3年）
垂水 隆（3年）
中神 文弘（2年）
久保 和馬（2年）
山下 賢明（3年）

女子陸上部

南九州大会（6月13～16日）
〈熊本県民総合運動公園〉
▽100M
優勝 野林 祐実（3年）
▽200M
優勝 野林 祐実（3年）
▽100MH
5位 沢田 玲香（2年）
▽4×100MR
優勝 田中 芹奈（2年）
福嶋 美幸（2年）
村本 美桜（3年）
野林 祐実（3年）
▽4×400MR
優勝 西 香織（1年）
村本 美桜（3年）
福嶋 美幸（2年）
野林 祐実（3年）
▽トラック 2位
▽総合 3位

学年別陸上（7月6日）
〈熊本県民総合運動公園〉
▽1年200M
優勝 西 香織（1年）
▽2年100M
優勝 福嶋 美幸（2年）
▽2年100MH
優勝 沢田 玲香（2年）
▽2年400MH
優勝 古閑加奈絵（2年）
▽1年800M
2位 西口 千尋（1年）

国体陸上競技大会予選大会（7月13～14日）
〈熊本県民総合運動公園〉
▽100M少年A
優勝 野林 祐実（3年）
2位 福嶋 美幸（2年）
3位 田中 芹奈（2年）
▽200M少年B
4位 西 香織（1年）
▽800M共通
3位 西口 千尋（1年）
▽100MH少年A
2位 沢田 玲香（2年）
4位 古閑加奈絵（2年）

平成25年度熊本県高等学校総合体育大会結果

団体	優勝		水泳部男子（15連覇）、剣道部（9連覇）、ボクシング部（7連覇）、自転車競技部（5連覇）、バスケット部（3連覇）、陸上競技部（男子学校対抗総合2連覇、学校対抗トラック3連覇）、ラグビー部、柔道部、空手部男子団体組手、空手部女子団体組手
団体	準優勝		バドミントン部、水泳部女子、女子陸上競技部（学校対抗総合は準優勝、学校対抗トラックは優勝）
個人	陸上競技部	男子	100㍍：①北村、③上野、⑤中村 /200㍍：①北村、②上野、③佐竹 /400㍍：①上野、②佐竹 /800㍍：⑤幸村 /1500㍍：②幸村、③近藤 /5000㍍：②近藤、⑥林田 /3000㍍障害：②木村、④山下 /400㍍リレー：①（中村、上野、佐竹、北村 /1600㍍リレー：①（緒方、佐竹、北村、上野）/ 棒高跳び：①中村
個人	水泳部	男子	50㍍自由形：①堀田、⑥原田/100㍍自由形：①福原/200㍍自由形：①齊藤、②福原、③瀬戸口/400㍍自由形：①野間、②瀬戸口、③渡邉/1500㍍自由形：①渡邉、②内ヶ島/100㍍背泳ぎ:②道喜、⑤西/200㍍背泳ぎ:①野間、②道喜、④山田/100㍍平泳ぎ：①鮫島、⑤鹿子生/200㍍平泳ぎ:①鮫島、④上船、⑤鹿子生/100㍍バタフライ：③志賀、④堀田/200㍍バタフライ：②山口、④志賀、⑥浦田/200㍍個人メドレー：①齊藤、②西、⑤嶋田/400㍍個人メドレー :①山田、④嶋田、⑥古木/400㍍リレー：①(齊藤、渡邉、瀬戸口、福原)/800㍍リレー：①熊本新記録（齊藤、野間、福原、瀬戸口）/400㍍メドレーリレー:①（野間、鮫島、瀬戸口、齊藤）
個人	水泳部	女子	100㍍自由形：④宮本/200㍍自由形：②宮本/100㍍平泳ぎ：⑥松本/200㍍個人メドレー：①近藤、③向山/400㍍個人メドレー：①近藤/400㍍メドレーリレー：②（向山、松本、近藤、宮本）/400㍍リレー:③（宮本、向山、近藤、松本）
個人	柔道部		60㌔級：②米村 /73㌔級：②池田 /81㌔級：①園田 /100㌔級：③中道、③永野 /100㌔超級：①坂田
個人	剣道部		①曽我、②真田
個人	空手道部	男子 女子	男子個人型：①寺川、④植松、⑤田尻 / 個人組手：①牛島 / 女子個人形：①田尻、③賀久、④田代、⑤石地 / 個人組手：③長尾
個人	ボクシング部		ピン級：③木村、③住永 / ライトフライ級：①堤 / フライ級：③山内 / バンダム級：②内山 / ライト級：③緒方 / ライトウエルター級：①宮崎 / ミドル級：③石坂
個人	自転車競技部		1000㍍タイムトライアル：①古森、③大久保、⑤河津 /3000㍍個人追い抜き：①河津、②中村、⑥木原 /4000㍍速度競争：①中村、③木原、⑥西原 / チームスプリント：②(藤森、大久保、古森)/4000㍍団体追い抜き :(①河津、中村、木原、西原)/ スプリント：②古森、③藤森 / ポイントレース：①河津、④中村、⑥西原 / スクラッチ：①古森、②木原 / ケイリン：①藤森 / 個人ロード：①河津、④中村、⑥西原
個人	バドミントン部		個人単：④内田
個人	女子陸上部		100㍍：①野林、②福嶋、④田中 /200㍍：①野林、②福嶋、④村本 /800㍍：④西口、⑥渡邉 /100㍍障害：②沢田、④古閑 /400㍍障害：②古閑、④沢田 /400㍍リレー：①(沢田、福嶋、村本、野林)/1600㍍リレー：②(田中、村本、西、福嶋)/ 円盤投げ：⑤加藤
個人	テニス部		男子個人単：②中島 / 女子個人単：⑤大海 / 女子個人複：③林、大海

卓球部	4回戦	
テニス部	男子	2回戦
	女子	ベスト8
サッカー部	2回戦	
ハンドボール部	2回戦	

バレーボール部	男子	2回戦
	女子	1回戦
ソフトテニス部	男子	2回戦
	女子	1回戦
弓道部	男子	予選
	女子	予選

高校総体（北部九州）

■水泳
〈長崎市民総合プール〉
▽男子200m自由形
6位 齊藤 凌（3年）
▽男子200m個人メドレー
2位 齊藤 凌（3年）
▽男子400mフリーリレー
2位 齊藤 凌（3年）
野間剣太朗（3年）
瀬戸口裕嗣（3年）
福原 賢二（3年）
▽男子800mフリーリレー
3位 齊藤 凌（3年）
野間剣太朗（3年）
福原 賢二（3年）
瀬戸口裕嗣（3年）

■女子陸上
〈大分スポーツ公園〉
▽4×100Mリレー
6位 村本 美桜（3年）
野林 祐実（3年）
福嶋 美幸（2年）
沢田 玲香（2年）
▽100M
2位 野林 祐実（3年）
▽200M
4位 野林 祐実（3年）

■剣道
〈佐賀県総合体育館〉
▽団体 優勝
▽個人
2位 曽我 貴昭（3年）
5位 真田 裕行（3年）

■ボクシング
〈佐賀諸富文化体育館〉
▽Lフライ級
5位 堤 聖也（3年）
▽Lウェルター級
ベスト16 宮﨑 智也（3年）

■空手道
〈佐世保市文化体育センター〉
▽男子団体組手 2回戦
▽個人形
3回戦 寺川 太清（3年）
▽女子団体組手 ベスト16
▽個人形
3回戦 田尻 曜子（3年）

■自転車競技
〈大分県日田市・別府市〉
▽4kmチームパーシュート
5位 古森 雄飛（3年）
河津 賢人（3年）
西原 祐太（3年）
中村 賢人（3年）
▽3km個人追抜
7位 河津 賢人（3年）
▽ポイントレース
8位 中村 賢人（3年）
▽4km速度競走
3位 木原 孝明（2年）

国民体育大会（東京）

■水泳
◉少年B
▽男子100m平泳ぎ
5位 鮫島 悠輔（1年）
◉少年A
▽男子400m個人メドレー
4位 齊藤 凌（3年）
▽男子800mフリーリレー
3位 齊藤 凌（3年）
野間剣太朗（3年）
瀬戸口裕嗣（3年）
福原 賢二（3年）

■自転車競技
◉少年A
▽ケイリン
2位 藤森 駿介（3年）

■ボクシング
▽ライトフライ級
3位 堤 聖也（3年）

■陸上
◉成・少年男子共通
▽400mリレー（3走）
4位 北村 将大（3年）

九州学院みどり幼稚園
「四季折々の体験と生活習慣」

みどり幼稚園・幼児園園長
九州学院理事長　長岡立一郎

朝晩すっかり涼しくなり、過ごしやすくなってきました熊本地方ですが、みどり幼稚園・幼児園の子どもたち総勢81名、元気に登園してきています。四季の移り変わりを肌で感じつつ、子どもたちも日本の秋を体験しています。9月19日には、年長組はお月見だんごを自分たちで作り、他のクラスにも分けてくれました。今年の十五夜は、雲ひとつない夜空でしたので、各家庭で子どもたちもきっと美しいお月さまを眺めたことでしょう。また、紅葉した自然の風景にもふれ、10月には、楽しいカーニバル（運動会）を予定し、さらにお芋掘りの体験学習を計画しています。

子どもたちにとって見ること、聞くこと、肌で感じること、すべてのことが初めての体験の場合が多いのですが、体験を通して感性を磨き、心の成長を遂げる機会となってくれればと思っています。

ことに良い生活習慣は、子どもたちの心身の健康のためにも大切ですので、早起き、各食事をしっかり摂ること、また、遊びを通してルールや約束事を守り、挨拶などの基本的な生活習慣をしっかり身につけることをみどり幼稚園・幼児園では心がけています。

カウンセリング室より
ひとりで悩まず気軽に相談を

横井尚子・古閑奈穂美

何か困ったことが起きた時、気になることがある時、どのように対処していますか？

スポーツなど体を動かして対処している人もいるでしょう。その人たちには体を動かすことが気持ちの切り替えになるのでしょう。

誰かに話をしてすっきりしたり気持ちを整理したりする人もいるでしょう。

もしかしたら、一人で困ったことや気になることを抱えて対処法も見つからずに立ち往生している人もいるかもしれません。ずっと一人で抱えていると気持ちが落ち込んだりイライラした気持ちになったりします。そして気持ちが落ち込んだりイライラしている自分が嫌になってきてさらに落ち込んだりイライラしたり…と悪循環に陥りがちです。

カウンセリング室の
横井先生（左）、古閑先生（右）

カウンセリングでは、困ったことや気になることを一緒に考えて解決するだけでなく、自分に合う対処方法を一緒に考えて見つけることができます。

生徒のみなさん、保護者の皆様、そして先生方がいらっしゃるのをお待ちしています。

連絡先　096(364)6134　内線(109)

九中コーナー

中学校全校教育キャンプ短歌・俳句大会を開催

6月5日(水)～7日(金)の2泊3日、九重グリーンパーク泉水キャンプ村で行った全校教育キャンプで、今年は新企画のウォークラリーと短歌・俳句大会を開催しました。受賞者と作品は次の通りです。

【短歌部門】

最優秀賞
2年1組　渡具知来彌
●夏の夜　君に届けと　くちずさむ　僕のメロディー　せつない　ほどに
●パチパチと　燃える　炎に　願いこめ　おいしくなれと　見つめる私

優秀賞
2年2組　本田依理

優秀賞
2年3組　諸岡昭徳

【俳句部門】

最優秀賞
3年1組　村井香音
●夜の山　ひと夏の香が　満ちている
●青草の　しげれる山道　一歩ずつ

優秀賞
3年2組　和久田貴仁

優秀賞
3年3組　上田怜奈

九中オープンスクール A Day in the Life of a Kyuchu Studentを実施

7月27日(土)9時30分より模擬授業体験のオープンスクールを行いました。参加者が多かったため、A組･B組に分けて、九中の英語、英会話、理科の各授業を体験していただきました。また、開校礼拝（キリスト教の朝礼体験）、キャンパス見学ツアーも行いました。予定した12時30分までの充実した九中ライフを満喫して、半日九中生体験を終えました。たくさんの皆さんのご参加ありがとうございました。

中学新生徒会役員

会長　加藤瑠伊
副会長　徳本佳大
書記　福田圭佑
書記　工藤康紀
会計　進藤ももこ
会計　徳永桜

高円宮杯中学英語弁論県大会で2位に村井さん

2日(水)、「高円宮杯第65回全日本中学校英語弁論大会」県予選が「熊本市男女共同参画センターはあもにい」で開かれ、本校からは、2位に村井香音さん（3年）、4位に工藤唯さん（3年）が入賞しました。

県大会の上位3人が県代表となり、村井さんが全国大会（11月29日・於東京）に出場します。

また、同時に開催されたショートスピーチ大会では、5位に村上紗咲さん（2年）が入賞しました。

2013水泳大会 九中生たちが元気に力泳！

7月18日(木)終業式を前にして、恒例の九中水泳大会を開催しました。慣れ親しんだ屋内プールで全員元気に水しぶきを上げました。

朝礼後、中学アリーナでウォーミングアップをし、全員プールサイドに整列。まず、全員25mの記録測定を行いクラス対抗の競泳などを行いました。

授業参観・講演会・茶話会に保護者が多数参加

6日(土)1時限と2時限に中学校1学期の授業参観を行いました。土曜日ということもあり、たくさんの保護者の皆さん（中には弟妹さん連れで）が参観に来られました。

3時限にはホールで、九州学院カウンセラーの古閑奈穂美先生から「思春期に見られる不適応と大人にできる支援」、横井尚子先生から「児童生徒たちが抱えるストレス」について、講演をしていただきました。

その後、クラスや学年ごとに茶話会を開き、歓談のひとときを過ごしました。

水泳部

第45回西日本年齢別選手権水泳大会（5月26日）
▽男子200m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）

第34回熊本県ジュニア長水路水泳競技大会（6月2日）
13才以上の部
▽男子200mメドレーリレー　3位　澤村英輔（2年）木村優太（2年）原田拓武（1年）松永仁（3年）
▽男子200mリレー　3位　木村優太（2年）原田拓武（1年）澤村英輔（2年）松永仁（3年）
▽男子200m平泳ぎ　優勝　木村優太（2年）
▽男子100m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子50m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子50m背泳ぎ　5位　澤村英輔（2年）
▽100m背泳ぎ　4位　澤村英輔（2年）

第23回熊本県中学校水泳競技大会（6月8・9日）
▽男子100m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子200m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子100mバタフライ　5位　原田拓武（1年）
▽男子200mバタフライ　3位　原田拓武（1年）
▽男子100m背泳ぎ　6位　澤村英輔（2年）
▽女子100m平泳ぎ　優勝　工藤三愛（3年）（大会新）
▽女子200m平泳ぎ　優勝　工藤三愛（3年）
▽女子200m自由形　4位　井出美紗稀（3年）
▽女子400m自由形　3位　井出美紗稀（3年）

熊本市中体連（7月1日）
男子総合優勝
▽男子200mメドレーリレー　優勝
▽男子400mフリーリレー　優勝
▽男子50m平泳ぎ　優勝　木村優太（2年）
▽男子100m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子50mバタフライ　2位　原田拓武（1年）
▽男子50m背泳ぎ　3位　澤村英輔（2年）
▽女子50m自由形　3位　井出美紗稀（3年）
▽女子200m自由形　2位　井出美紗稀（3年）
▽女子100m平泳ぎ　優勝　工藤三愛（3年）
▽女子50mバタフライ　3位　工藤三愛（3年）

県中学校総合体育大会（7月27日・28日）
▽男子団体　優勝
▽男子100m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽男子200m平泳ぎ　優勝　木村優太（2年）
▽男子200mバタフライ　3位　原田拓武（1年）
▽男子400m個人メドレー　3位　澤村英輔（2年）
▽男子400mメドレーリレー　優勝　澤村英輔（2年）木村優太（2年）原田拓武（1年）松永仁（3年）
▽男子400mリレー　優勝　澤村英輔（2年）木村優太（2年）原田拓武（1年）松永仁（3年）
▽男子1500m自由形　3位　松永仁（3年）
▽女子200m自由形　3位　井手美紗稀（3年）
▽女子400m自由形　3位　井手美紗稀（3年）
▽女子100m平泳ぎ　優勝　工藤三愛（3年）　1分12秒28＝県中学新
▽女子200m平泳ぎ　優勝　工藤三愛（3年）　2分38秒60＝大会新

第41回九州中学校水泳競技大会（8月10日）
▽男子400mメドレーリレー　4位　澤村英輔（2年）木村優太（2年）原田拓武（1年）松永仁（3年）
▽男子400mリレー　4位　木村優太（2年）原田拓武（1年）澤村英輔（2年）松永仁（3年）
▽男子100m平泳ぎ　3位　木村優太（2年）
▽男子200m平泳ぎ　2位　木村優太（2年）
▽女子100m平泳ぎ　3位　工藤三愛（3年）
▽女子200m平泳ぎ　3位　工藤三愛（3年）

剣道部

熊本市中体連
▽男子団体　優勝
▽男子個人代表　優勝　山重安孝（3年）
▽個人2年　優勝　長尾和樹（2年）　2位　今福京冴（2年）

県中学校総合体育大会（7月27日・28日）
▽男子団体　3位
▽男子個人2年の部　2位　長尾和樹（2年）

柔道部

熊本市中体連
▽男子団体　優勝
▽男子90kg超級　優勝　千原靖人（3年）　2位　織方景太（3年）　3位　井上知洋（2年）　3位　坂田雄紀（3年）
▽男子90kg級　3位　川口辰巳（3年）
▽男子81kg級　2位　土江幹樹（3年）
▽男子60kg級　3位　上田泰成（3年）　石田隼椰（2年）
▽女子団体　優勝
▽女子57kg級　優勝　園田真姫（3年）
▽女子70kg級　3位　酒井美奈（1年）

県中学校総合体育大会（7月27日・28日）
▽男子団体　優勝
九州学院中　2（代表）2　天明中
先鋒　上田泰成（3年）
次鋒　土江幹樹（3年）
中堅　川口辰巳（3年）
副将　千原靖人（3年）
大将　織方景太（3年）
▽男子個人81kg級　3位　土江幹樹（3年）
▽男子90kg級　3位　川口辰巳（3年）
▽男子90kg超級　優勝　織方景太（3年）　2位　千原靖人（3年）
▽女子団体　3位
▽女子個人57kg級　優勝　園田真姫（3年）

空手部

熊本市中体連
▽女子団体組手　2位
先　吉安茉莉彩（3年）
中　西山結愛（1年）
大　平井佑季（1年）
▽代表女子個人組手　3位　吉安茉莉彩（3年）　西山結愛（1年）

県中学校総合体育大会（7月27日・28日）
▽女子団体組手　2位
▽女子個人組手　3位　吉安茉莉彩（3年）

弓道部

熊本市中体連
▽男子団体　2位　上村善太（2年）西牟田瑛士（2年）島田憲史郎（2年）
▽男子個人学校代表の部　2位　島田憲史郎（2年）
▽男子個人　2位　花香竜太（2年）
▽女子団体　2位　濵田麻里（3年）　甲斐なつき（3年）　吉村夏紀（3年）
▽女子個人　2位　小高ここな（2年）

県中学校総合体育大会（7月27日・28日）
▽男子団体　2位
▽男子個人　個人代表　優勝　上村善太（2年）
▽女子個人2年生以下　3位　小高ここな（2年）

チアダンス部

第3回全国中学校ダンスドリル選手権大会全国大会（8月12日）
▽ソングリーダー部門　スモール編成　第2位

卓球部

熊本県中学学年別卓球大会（8月20日）
3位　宇野龍世（1年）

その他

第5回「家族のきずな」エッセイコンクール（7月27日）
佳作　山本絵理（1年）
入選　築地ひかり（1年）　平本美月（1年）